

令和6年第4回月形町議会定例会 1日目（12月3日）

- 議長 大釜 登 ただ今の出席議員は8人です。定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。

ただいまから、令和6年第4回月形町議会定例会を開会いたします。

(午前10時00分開会)

直ちに本日の会議を開きます。

(午前10時00分開議)

議事日程第1号は、お手元に配付のとおりであります。

◎ 日程1番 会議録署名議員の指名

- 議長 大釜 登 日程1番 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員の指名は、会議規則第127条の規定により議長において

松 田 順 一 議員

滝 口 伸 議員

の両名を指名いたします。

◎ 日程2番 会期の決定

- 議長 大釜 登 日程2番 会期の決定を議題といたします。

先に、議会運営委員会委員長から、去る11月25日開催の議会運営委員会での本定例会の運営について、報告の申し出がありましたので、これを許します。

- 議長 大釜 登 議会運営委員会 松田順一委員長、報告願います。

- 議会運営委員会委員長 松田 順一 議長の許可をいただきましたので、第4回定例会の運営について、去る11月25日及び26日に開催いたしました議会運営委員会の協議結果について、報告いたします。

本定例会に付議され、提案されている案件は、町長の提案に係るものとして、専決処分の承認2件、一般会計補正予算など議案5件、同意案1件の合わせて8件であり、また、議会から発議1件、意見案1件の提案を予定しております。

一般質問についてであります。11月22日の通告期限までに、5人の議員から通告があり、本日12月3日に一般質問を行うことにしました。

以上のことから、これらの案件を勘案の上、本定例会の会期については、本日と4日の2日間としたところであります。

最後に、本定例会における議員の質疑及び町側の答弁については簡潔明瞭にされ、議事運営に特段のご協力をいただきますようお願いを申し上げ、議

令和6年第4回月形町議会定例会 1日目（12月3日）

会運営委員会の報告といたします。

- 議長 大釜 登 以上で議会運営委員会委員長の報告を終わります。
お諮りいたします。本定例会の会期は、ただいま、議会運営委員会委員長から報告のとおり、本日3日から4日までの2日間にしたいと思います。これに、ご異議ございませんか。（「異議なし」の声あり）
- 議長 大釜 登 異議なしと認め、会期については、本日3日から4日までの2日間とすることに決定いたしました。

◎ 日程3番 諸般の報告

- 議長 大釜 登 日程3番 諸般の報告を行います。議長会務報告、例月出納検査結果報告及び定期監査結果報告は、お手元に配付のとおりでありますので、ご覧願います。
- 議長 大釜 登 以上で諸般の報告を終わります。

◎ 日程4番 行政報告

- 議長 大釜 登 日程4番 行政報告を行います。行政報告については、お手元に配付のとおりでありますので、ご覧願います。
- 議長 大釜 登 以上で行政報告を終わります。

◎ 日程5番 一般質問

- 議長 大釜 登 日程5番 これより一般質問を行います。順番に発言を許します。
- 議長 大釜 登 順番1番 若井昭二議員、発言願います。
- 議員 若井 昭二 通告に従い一般質問をさせていただきます。質問事項ですが、道の駅に関する行政・振興公社の苦情対応と今後の経営方針について、質問の趣旨として、オープン当初から何かと課題がある道の駅ですが、その中でもレストランに関する苦情がよく聞こえてきます。町民の声や来訪された方々の声などにどのように対応していくのか。また、今後の経営方針についてどのように考えているのか伺いたい。
- 議長 大釜 登 町長。
- 町長 上坂 隆一 通告に基づきお答えいたします。月形温泉ゆりかごは、道の駅275つきがたの中核施設として9月1日にリニューアルオープンし、レストランも営業を開始したところです。レストランにも予想を上回る多く

令和6年第4回月形町議会定例会 1日目（12月3日）

の方々に来場していただいておりますが、一方で、町や指定管理者である月形町振興公社に数多くの意見、要望等が寄せられていることは承知しております。これらへの対応をする場として、月形町振興公社では、定期的に運営会議を開催しています。この会議では、社長（副町長）、専務のほか、町企画振興課や現場の責任者も出席した中で、課題解決に向けた協議を行っており、私もその都度報告を受けております。

また、振興公社では、運営会議の開催のほかにもさまざまなニーズや課題を検証して改善に取り組んでおり、一例として、11月から少しずつメニューを充実させ、お客様からも好評を得ているとの報告を受けております。多くの課題が山積みしておりますが、一つひとつ真摯に受け止め、町民や来訪者に親しまれるレストランとなるように、振興公社とともに取り組んでまいりたいと思っております。

施設の経営方針は、条例及び協定の趣旨に沿って、指定管理者である月形町振興公社が決定し、実行することになりますが、道の駅の設置目的である皆楽公園エリアの活性化、月形町の魅力及び情報の発信、町内消費の喚起及び経済の活性化等に向けた経営となるよう、振興公社とともに取り組んでまいりたいと思っております。

- 議長 大釜 登 若井昭二議員。
- 議員 若井 昭二 私のほうでもいろいろと苦情の部分について、自分で行って、ここが足りないなとか、ここがあったらいいなというところを、いろいろと見てきましたが、改善された部分は今回行っていますので、その部分をもう少し最初のほうにできなかったのかなというところもあったのですが、ちょっとお聞きしたいのですが、今回、道の駅オープンと同時に花火大会を開催したと思うのですが、その時の苦情がどうしてなのかという疑問がありまして、24時間トイレの使用が不可能だったという話を聞いています。実際使用できなかったお子さんなのですが、使用できなかったということで親御さんが急遽町場のお店の方に行って用を足したというような話をされていました。そこでなぜその24時間のトイレが使用不可能だったのか、私には理解できなかったのですが、そのときの話が、警備員の方に「使えません」と言われたということだったので、なぜそこで使えなかったのかなというのがちょっと疑問に思ったのと、あと食事の部分でいえば、最初に比べると確かによくなっていると、私も思っていますが、実際に来てくれているお客様に私のほうでも話をし、料理は道の駅だからこの程度でしょうという話も

令和6年第4回月形町議会定例会 1日目（12月3日）

されていまして、何が足りないのと聞いたときに、やっぱり料金と物、ようは見栄えですよ。多分その感覚、料金との設定の部分での見栄えというのがちょっと足りないのではないかという声がありました。実際私も食べてみて、ただ、メニューの部分の料理だけがお盆に乗っています。その金額で満足できるのかなと思ったときに、なぜその普通のところだったら同じぐらいの何でも付け合せがついている部分があるのに、月形の道の駅のレストランではそういうサービスのものがないのかなというのがちょっと残念かなというところもありました。

あと、この間キッズルームに行ったときに、お子さんとお母さんが遊んでいたのですが、聞いてみるとそこは町の方というか、道の駅の部分での利用は少ないみたいなのです。実際、少ないですが、お母さんの話だと危なくなく、子供も楽しんでいるということで、大変良かったなど、あれはあっても良かったなどという話をしてきました。最初のオープンの際に、高校生と要は民間の食堂の方とかで、1年ぐらいかけて作った商品がパスタですが、あれの実際の最初に作り上げたものと出たメニューがちょっと似ても似つかないものが出ていたという話を聞いて、自分でもその部分の話を聞きましたが、全然違ったよということで、なぜそこが最初の高校生とのコラボ商品と違ったのかというのをちょっとお聞きしたいです。

- 議長 大釜 登 暫時休憩いたします。 （午前10時14分休憩）
- 議長 大釜 登 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。
（午前10時15分再開）

- 議長 大釜 登 町長。
- 町長 上坂 隆一 花火大会のときの24時間トイレが使えなかった件については、今、担当者も覚えていないということもあり、話も聞いていないため、答えようがないのですが、いずれも議員から、今の質問の中で、具体的に高校生とのコラボで作ったパスタがそのような状況で、似ても似つかないものが出ていたとか、それから、料金とその内容の問題についても、私としては、答えようがないというか、ただ、私は今一生懸命やってくれていますし、それから改善に向けて声を聞きながら取り組んでいますので、もう少し時間をかけて見守っていただきたいと思います。
- 議長 大釜 登 若井昭二議員。

令和6年第4回月形町議会定例会 1日目（12月3日）

- 議員 若井 昭二 実際、私のところに届いている声も、今言った以外にもまだまだ少しあるのですが、その中でも改善されている部分もあるので、そこを除いても、まだまだちょっと改善すべきなのかなというところはあるのですが、それを今やってくださいということではないので、本当に今、町長が言ったように、少しずつでもいいですから、町の人たちや来訪される方々に対して、良かったなと思うような形のものにしてもらえれば全然構わないので、あとさっき言っていたコラボの部分ですが、本来もう1年以上かけて作ったものということで、町を挙げての商品だったと思います。

道の駅に対して、そこで何らかの要因として料金やその素材の部分、採算性が合わなくて変えたのか、それとも調理人が「これじゃ自分にはできない」と言って変えたのか。そういう部分が公社側にきちんと話がいていたのか、それともそれがない状態で勝手に変えたのか、その辺がどのようになっているのかなというところも、ちょっと今後、高校生に対しては、やっぱり高校生はそれをやったということで自分の中でも自慢になる部分でしょうし、そういうのが全く自分が作ったものと違ったとなると、多分「どうして」と思うところがあると思うので、その部分で、公社と食堂レストランの方できちんとした話し合いができていたのか、それを学校側またはそれに携わった方々にきちんと説明していたのかということ、ちょっとお聞きしたいです。

- 議員 金子 廣司 議長。
- 議長 大釜 登 金子廣司議員。
- 議員 金子 廣司 町長は先ほど、自分は存じ上げていないから説明できないと言いました。説明できる人に答弁させてください。
- 議長 大釜 登 町長が示すことができれば良いです。答えられないのであれば、担当者から説明をお願いいたします。

- 議長 大釜 登 暫時休憩いたします。 （午前10時20分休憩）
- 議長 大釜 登 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。 （午前10時20分再開）

- 議長 大釜 登 町長。
- 町長 上坂 隆一 振興公社派遣の参事からお答えいたします。
- 議長 大釜 登 村瀬参事。
- 企画振興課参事 村瀬 潤一 ただいま質問のありました月形高校と高校

令和6年第4回月形町議会定例会 1日目（12月3日）

生が開発した食事メニューについての経過についてお答えいたします。町内飲食店と月形高校とともにメニューを開発してきて、夏まつりのイベントでアンケートを実施するなど、そういったことをやっていたことは承知しております。また、完成されたメニューにつきましても振興公社の方に提供いただいているところでございます。

当時、振興公社の料理人にもそのメニューを渡して、レストランのメニューに採用するよとということ、振興公社の専務の立場で指示していたところでございますが、実際に調理するに当たってさまざまな問題や課題が出てきましたので、これは一度、月形高校の先生、それから生徒たちと会って、実際にその思いを確認してこようということになりまして、私の方から連絡を取り、月形高校の方に調理人を連れて赴き、その考えを伺ってきたところでございます。

課題としては、やはり原価の関係、それから材料の調達、そういったところが主な課題でありまして、それらを生徒や先生方に伝えたところです。提案のあったメニューをベースに、少し現実的なメニューに改良していきましようということ、今年3月から月に1回程度、授業で時間をとっていただきまして、調理人が実際に毎月高校の授業に行き、いろいろと生徒と話し合い、作り上げてきております。

最終的には、温泉ゆりかごの厨房が使えるようになってから、実際に高校生に来ていただき、一緒に調理して味を確認していただいたというところですので、そういった事情がございまして、飲食店で開発していただいたメニューとは少し異なっておりますが、高校生の思いも汲んだメニューということで、提供させていただいているところです。以上です。

- 議長 大釜 登 若井昭二議員。
- 議員 若井 昭二 高校生の分は分かりました。協力していただいた飲食店に対する説明はなかったのですか。
- 議長 大釜 登 村瀬参事。
- 企画振興課参事 村瀬 潤一 飲食店からパスタのメニュー、ドリンクのメニューを提供していただいておりますが、それぞれの事情は説明させていただいております。以上です。
- 議長 大釜 登 若井昭二議員。
- 議員 若井 昭二 そうですか、あまり良いとは思わないので、私が聞いているのは説明がなかったとのことですが、町の方がそう言うのであれば、

令和6年第4回月形町議会定例会 1日目（12月3日）

仕方がないと思います。これ以上は責めないつもりですが、実際にレシピが変わっているのであれば、やはりプレオープンの際に、こういうふうに変わっています、こういうふうに変更されたのでということをおっしゃっていただいたかという部分で、自分たちはやはり最初に作ったものが美味しかったよって聞いていたので、実際に食べてみて、この程度だったのかなと私は感じてしまったので、そこでやはりもう少しその説明も、当たり前ではありますが、なくてもいいのですけれども、でも、実際のこれとはちょっとコスト的にだいぶ変わりましたのでという説明があってもよかったのかなというところは、少し心情的な部分ではありますが、今後またその部分でももう少し改良がされると思うので、やはり町民の方々や店に来てくださる方々の声をいろいろと拾って、より良くしてもらえればいいかなと思います。

次に、町内の除雪対策についてですが、近年、燃料の高騰や人手不足などにより除雪業者は厳しい状況にあります。今後、除雪を業者に依頼する町民、あるいは除雪業者への支援などについて、どのように考えているのか、また、除雪センターの人員確保対策について伺いたい。

○ 議長 大釜 登 町長。

○ 町長 上坂 隆一 これまで高齢者等の自宅の除雪に関しては、福祉除雪サービスと屋根雪除雪事業の二つの事業で対応しておりましたが、どちらの事業も利用者が余り多くない状況でした。一方、高齢化が進むにつれて、地域の助け合いが難しくなってきたためか、除雪を業者に頼む方が年々増加してきました。しかし、燃料や人件費の高騰により、除雪料が年々上昇しているため、除雪を頼みたくても頼めない住民が増えていると承知しています。

また、除雪業者の方も、除雪を担う人材の確保が困難となり、除雪事業から撤退する事業者も出てきました。低所得の高齢者に対しては、除雪料をあまり上げることもできず、利益が出ないというジレンマもあるとお聞きしております。さらに冬の除雪を考えると、これ以上月形には住み続けられないと感じて、他市町に転出する高齢者も出てきており、除雪問題は月形町にとって非常に大きな問題と認識しています。

そのため、町では、令和7年度から除雪サービスを見直すこととして、今年度検討を行っております。その結果、令和7年度からはこれまでの福祉除雪サービスと屋根雪除雪事業を廃止し、代わりに除雪にかかる費用の一部を低所得の高齢者世帯等に補助する事業を新設することを検討しております。

令和6年第4回月形町議会定例会 1日目（12月3日）

この方法であれば、敷地内であれば家屋の周りの雪でも屋根雪でも対象となり、これまで補助がなかった溜まった雪の排雪などにも対応可能となります。助成金額や登録方法など詳細については現在検討中ですが、事業を実施していく中で、生活実態や皆様のご意見等を踏まえ、適宜見直していく予定であります。ご質問では除雪業者への支援についてもどのように考えているかということでありましたが、まずは町民へ必要な支援を行い、そのことが除雪事業者様にとっても間接的な支援となると考えていますので、ご理解いただきたいと思っております。

もう一つの質問にありました除雪センターでの人員確保対策についてであります。現在町道除雪排雪業務は、月形事業協同組合において、町対応機械に運転手11名、助手5名、借り上げ車両に運転手3名、除雪巡視員1名の合計20名の体制で実施していますが、従事者の高齢化と担い手不足が慢性的な問題となっています。本シーズンから大型トラックの運転手1名とタイヤショベルの運転手1名が離職したため、急遽昨シーズンまで助手をしていた2名に運転手を委ね、新たな助手を2名迎えることで、どうにか体制を維持することができましたが、依然として待機要員を配置できる体制にはほど遠い状況にあります。このような中で、除雪機械の運転手を担う人材の育成や後継者の確保を支援するため、令和3年度から大型及び大型特殊自動車の運転免許取得費への助成や、除雪従事者の給料補償額の引き上げ等の対策を講じていますが、近年の担い手が給与水準よりも労働条件を重視し、夜間作業や不規則の休暇を嫌う傾向が強いことから、人員確保について極めて困難な状況が続いています。

また、町道排雪業務は年明けのピーク時になると、町道はもちろん、公共施設の除排雪や町道の拡幅、雪捨場の整地作業など、連日の作業となり、過労による事故の発生も懸念されます。町としましても、除雪路線並びに公共施設の除排雪及び作業方法を見直すなどし、従事者の負担軽減を図るとともに、待機場所等における就業環境の改善等も着手し、職業としての魅力向上に努めているところであります。今後におきましては、これらの取り組みを進めるとともに、町道除排雪業務が直面する課題等を踏まえ、町民の皆様のご理解とご協力を仰ぎながら、引き続き月形事業協同組合と連携の上、業務を遂行したいと考えております。

- 議長 大釜 登 若井昭二議員。
- 議員 若井 昭二 低所得者に対しての助成を必ずやっていただきたいと

令和6年第4回月形町議会定例会 1日目（12月3日）

思います。そのほかに今後の課題として、除雪、町営住宅に住んでいる方は特にそうなのですが、4棟なら4戸、4軒入る部分の中で、1軒しか入っていないとします。そのときに、除雪って、家のところまで行って帰って終わりじゃないはずなのです。そこから奥に入れないと、月形はやはり雪が多いから溜めていけない。そのときの経費というのは、4軒いけば4等分になりますが、1軒しかなければ10万、20万を1人で払わなければならないという部分も出てきているらしいのです。実際、そういう声も上がっているということで、だから、そういう部分での対応というのも今後考えてもらいたいなというところがあります。今、それをやってくださいということは言いませんので、今後の課題として、そういうところも考えていただければと思います。私の一般質問はこれで終わりますので、よろしくをお願いします。

- 議長 大釜 登 答弁はありますか。
- 議長 大釜 登 若井昭二議員。
- 議員 若井 昭二 いません。

○ 議長 大釜 登 順番2番 滝口 伸議員、発言願います。

○ 議員 滝口 伸 それでは、通告書に基づきまして、一般質問を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。今回の質問では、移住・定住促進とUターン支援を見据えた高校生への通学・住居費支援について伺います。これは、人口減少対策が重要課題となっている本町において、子ども・子育て支援、移住・定住のUターン促進、地域公共交通網の維持に関連する施策として、通学費等への助成を行うことで、人口減少に歯止めをかけ、町の活力維持を図ってはどうかという内容になっております。

また、町外に通学する高校生等への通学費補助については、以前より、その時々状況において、議会の方から同様の趣旨の質問がされているという経緯があることを申し添えさせていただき、今回は現状を踏まえ、私から質問させていただきます。

さて、本町では、高校生の多くが町外の学校へ進学しており、通学費や寮などの住居費が保護者にとって大きな負担となっています。以前から、通学費用を補助してほしいという町民の声を聞いたことがある方もいると思います。

また、近年の物価高騰で、公共交通運賃や寮など住居費の増加が、保護者の家計をさらに圧迫しているというのが現状です。そのような状況において

令和6年第4回月形町議会定例会 1日目（12月3日）

は、子どもが高校に進学するときに通学費等が多くかかるのであれば、引越したほうが良いと考える方もおり、子育て世帯が本町に住み続けるかどうかを判断する重要な分岐点となってしまいます。

さらに、若者世代や子育て世代の方が、就職もしくは就農など、さまざまな形で本町への移住やUターンを検討する際に、将来設計として子どもが町外の高校へ進学することもあるということを考える方もおられるのではないかと思います。現実問題として都市部への通学圏にある本町において、通学費等に対して何らかの支援があれば、子育て場所としての本町を選択しやすくなります。移住するという決断の後押しをする、そういう判断材料の一つになるのではないかと考えます。

また、町外への通学費を支援する施策は、公共交通網の維持にもつながると考えます。先日行われました地域公共交通を考える講演会でも、本町において利用者の減少が地域公共交通網維持の大きな課題であるというふうに指摘されておりました。利用者数の減少を食い止めることは喫緊の課題であり、通学費の補助制度を創設し、地域公共交通の利用者を維持または増やすように図っていくことは、現状において優先的に行うべきことと考えております。

また、今回の質問にあたりまして、他市町村の事例を私なりに調べさせていただきました。内容につきましてはご存じの方もおられると思いますが、ご参考までに二つの例を紹介させていただきます。いずれも地元で高校がある自治体となっております。なお、詳細につきましては、ご確認のほどお願いいたします。

まず、近隣の当別町ですが、本町と同じく、多くの高校生が町外に進学しているものと推察いたします。当別町では、令和6年4月から、高等学校等生徒通学交通費助成金制度として、子育て世帯の経済的負担を軽減し、町民の定住促進を図るため、当別町に居住し、公共交通機関等を利用して高等学校等に通学する生徒の保護者に対し、通学に要する費用の一部を助成しております。内容は、1か月当たりの通学定期券代のうち、1万円を超える額の3分の2を助成し、上限額として2万円を設けています。月に4万円定期代がかかる方は上限額の2万円を受け取ることができるものと推計いたします。

また、道外の例ではありますが、岡山県吉備中央町では、高校生通学費等補助制度として、町内に住所を有し、県内の高等学校等に通学する生徒の保護者に対し、経済的負担の軽減を図るため、通学等に係る費用の一部を助成する制度を設けております。内容は、高等学校等への通学費や住居費の2分

令和6年第4回月形町議会定例会 1日目（12月3日）

の1を補助し、住居費につきましては上限を6,000円とするという内容になっております。

最後に、本町でも成人年齢の18歳まで安心して子育てができる環境を整えるという観点から、通学費等への支援を通じて、子育て世帯の経済的負担を軽減し、移住・定住、Uターンの促進に取り組み、また、地域公共交通網を維持し、まちの活力を高める取り組みをされてはいかがでしょうか。町として現状をどのように認識され、今後どのような対応を検討されているのか、ご答弁をお願いいたします。

○ 議長 大釜 登 町長。

○ 町長 上坂 隆一 通告に基づきお答えいたします。議員のご指摘のとおり、本町に在住する高校生の町外の高校への通学が半数以上となっているのが現状です。また、現在の中学3年生は21人で、半数以上は町外の高校に入学することが見込まれます。現在作成している総合振興計画のアンケートや子ども・子育て会議でも、通学費への助成を望む声が多いことも理解しております。また、先日、中学1年生から3年生の各学年のお子さんを持つ保護者から、町外の高校に通学する際の通学費の助成についての支援を検討してほしいとの申し出がありました。近年のエネルギー価格の高騰や運転手不足などの影響により、公共交通運賃も値上がりし、子育て世代の家庭を中心に、経済的負担が高まっており、その支援の重要性と子育て世代が本町に定住してもらうための重要な問題であると認識しております。

町内にはJR札沼線の代替交通である月形当別線、月形浦臼線、そして月形岩見沢間を運行している月形線、月形江別新篠津を運行しているニューシのつバスの4路線が運行しています。月形線については、北海道中央バスが令和7年3月で運行終了することにより、新たな運行事業者において路線バスの運行を開始します。これらのすべてのバス路線は月形町の子どもたちの通学や町民の日常生活に欠かせないことから、町民が安全快適に暮らせる交通、まちづくりを進めるためにも、公共交通を維持していかなくてはなりません。

この公共交通の維持と定住促進を進めながら、月形町の子どもたちには不安なく、将来の選択をしてもらうことが必要と考えており、通学費の支援制度の設計を現在、担当課と検討しています。町としては、乳幼児医療費の高校生までの無償化などを実施しており、他市町と比較しても、子育て支援の環境は整っていると判断しておりますので、本支援制度については公共交通

令和6年第4回月形町議会定例会 1日目（12月3日）

の維持という観点から、定住促進、子育て支援につながるものと考えておりますので、どうかご理解いただきたいと思っております。

- 議長 大釜 登 滝口 伸議員。
- 議員 滝口 伸 ありがとうございます。町民の方の声を受けて、地域公共交通網の維持という観点から、通学費の支援を検討されているとのこと、それが移住・定住の促進であるとか、子育て支援につながっていくというふうにお考えであると受け止めさせていただきました。まずは前向きな姿勢で、通学費の助成に取り組んでいこうという姿勢を示されたことに、大変ありがたく、まず感謝と評価をさせていただきたいと思っております。

今後、次年度に向けて補助率やその中身をご提案いただくことになると思いますが、財源等々いろいろあるとは思っておりますので、なるべくできる限りの支援をお願いできればと考えております。また、今回は公共交通網維持の観点から通学費の助成を検討するということですので、私のほうから一応提案させていただいた寮など住居費の件につきましては、考えていただくとなると公共交通網の維持という観点からは別の視点になりますので、今後取り組んでいただけたとしても別事業になると思っております。

その際、現状では寮などその住居費を必要とされるお子さんの数は毎年そんなに多くの人数ではないと私の方では考えております。それでまた支援するにしても、例に挙げさせていただいたように、通学費よりも低い上限額を設けて取り組まれているようなケースが全部調べたわけではないのですが、多いように感じております。

その場合に人数も少ないし、上限額も低いということであれば、総額、取り組んだとしても、それほど多額にはならないのではないかと今のところ想定しております。それで来年度に、本町におきまして対象となるお子さんが、寮など住居費を必要とするお子さんが、どれだけいるかというのは私の方では全く把握できていないのですけれども、高等学校へ進学するお子さんを抱えるご家庭の保護者の方に対して、先ほど申し上げましたけれども、現在の物価高騰などその厳しい経済状況を踏まえて、満遍なく基礎的な部分を支援していくというふうを考えております。この際、もう一步踏み込んでいただき、寮など住居費の支援を次年度から支援事業として創設することを考えてみてはいかがでしょうか。

- 議長 大釜 登 町長。
- 町長 上坂 隆一 下宿している生徒への支援は、議員がおっしゃるよう

令和6年第4回月形町議会定例会 1日目（12月3日）

に意味合いが少し違うと考えていますので、要望を聞きながら町として支援が必要だと判断した場合には、違う形で支援を検討する必要があるとも思っております。そのように理解していただきたいと思えます。

- 議長 大釜 登 滝口 伸議員。
- 議員 滝口 伸 ぜひ、できましたら次年度に向けて、前向きにご検討いただければと思えます。以上です。

- 議長 大釜 登 暫時休憩いたします。 （午前10時51分休憩）
- 議長 大釜 登 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。 （午前11時00分再開）

- 議長 大釜 登 順番3番 東出善幸議員、発言願います。
- 議員 東出 善幸 それでは、通告に基づき質問をさせていただきます。

私の質問につきましては、月形温泉及び道の駅275つきがたについてでございます。9月1日にリニューアルした月形温泉及び道の駅275つきがたの新規オープンから3か月が経過し、9月の1か月で約10万人が訪れ、周辺施設の売上げも上がり、経済効果も見え始めております。キャンプ客にも大変好評で、一部のキャンプ客に聞いたところ、キャンプ場がきちんと整備されていること、温泉が近くにあること、札幌から約1時間の距離であるなどの理由でありました。

また、24時間使用できるトイレには、おむつ・ミルク・お尻ふきを買える自動販売機も設置され、赤ちゃん連れに大変好評であるとの声も聞かれました。温泉リニューアルと道の駅オープン後、多くの方が訪れるようになり、エリア内のにぎわいはもとより、来訪者が町内を散策し、町全体でにぎわいを見せています。一方で、想定以上の来訪者が来て、エリア内では対応し切れず、町内の一部飲食店では、受け入れが大変だったとの声も聞かれました。このようなことから、これを契機として、町ぐるみで受け入れやおもてなしを行える体制を整えなければならないと考えますが、町長はどのようにお考えでしょうか。

- 議長 大釜 登 町長。
- 町長 上坂 隆一 通告に基づきお答えいたします。1年間の休業を経て、9月1日に月形温泉ゆりかごのリニューアルオープン、同時に道の駅275つきがたの供用開始を無事迎えることができました。そして、温泉リニュー

令和6年第4回月形町議会定例会 1日目（12月3日）

アルと道の駅開所が相まって、多くの方に皆楽公園エリア内に足を運んでいただいております。

また、メディアにも多数取り上げていただいたこともあり、予想をはるかに超えるお客様にお越しいただいております。そうした効果から、温泉宿泊飲食サービスをはじめ、皆楽公園エリア全体ににぎわいをもたらし、経済的な効果も出ていると認識しております。一方、議員のご指摘のとおり、あらゆる部分で、想定し切れていなかったことや準備不足など、来場いただいた方にご不便やご迷惑をおかけしてきたところであります。

厳しい指摘やご批判の声は真摯に受け止め、施設運営の改善やサービス向上に向けて日々努力しながら運営を行っている状況であります。ご質問の想定以上の来訪者に対し、エリア内では対応しきれず、町内の一部飲食店では受け入れが大変だったとの声も聞かれましたが、個別具体的な内容は承知しておりません。ただし、温泉ゆりかご内のレストランにおいて、商品の売り切れや提供までの時間、メニューの種類など、お客様のご期待に十分応えられず、町内の飲食店に多くの来訪者が殺到してしまったことではないかと推察いたします。この点については、3か月間にわたりお客様にご迷惑をおかけしないよう、指定管理事業者である振興公社とともに検討し、業務運営改善を進めているところであります。

また、町内飲食店からは道の駅における飲食サービスに対する評価や各店舗への影響等を把握するとともに、町全体の経済活動につながるように、お互いに知恵を出し合い、相乗効果が生まれるよう取り組みを検討してまいります。

もう一つのご質問であります。町ぐるみで受け入れやおもてなしを行える体制整備について、おもてなしといっても非常に広い意味を持っていると思っております。それぞれの考え方や感じ方があると思います。町としましては、来訪者の方に温泉やキャンプ、道の駅を楽しんでいただくため、振興公社、皆楽公園エリア周辺の事業者、住民の方々の協力を得て、皆楽公園エリアの魅力を高めていくことが重要だと考えております。

また、実際に農産物等の販売事業者、つち工房の指定管理事業者、周辺の飲食店、皆楽公園の管理受託事業者におかれましては、来訪者に対して、施設の案内や町のPRなどにご協力いただいているものと認識しており、そういった意味では、自然とおもてなしの体制が生まれているのではないかと感じています。まずは、現状で関わりのある方々と協力し、皆楽公園エリア全

令和6年第4回月形町議会定例会 1日目（12月3日）

体を盛り上げていくよう努力してまいりたいと、そのように考えております。

- 議長 大釜 登 東出善幸議員。
- 議員 東出 善幸 ありがとうございます。これだけ盛況であった道の駅、果たして本当にリピーターがいるのかどうか、また今年のように多くの人が訪れるのか、それは誰も分らないと思いますけれども、ただこのままの状況でいきますと、来訪者は今後少なくなるのではないかと不安になります。今の答弁で町内飲食店から評価をいただき、町全体の経済活動につながるよう、互いに知恵を出し、相乗効果が生まれるような取り組みを検討すると言われましたけれども、商工会やJA、そして観光協会との連携が私は必須ではないかと思えます。そしておもてなしですが、答弁では非常に広い意味を持っており、それぞれの考え方や感じ方があります。当面では現状で関わりのある方と協力をして、エリア全体を盛り上げていくよう努力します。そのことにより、自然とおもてなしの体制が生まれるのではないかと言われましたが、果たして生まれているのでしょうか。私はおもてなしとは、来訪者が心地よく過ごせるように心を込めて準備をし、最大限の歓迎の気持ちを持って対応することだと思います。

また、今町長が各事業者等に施設の案内や町のPRなどの協力をいただいていると認識し、答弁されましたけれども、実際に私はオープンしてから約1か月間、結構頻繁に温泉の方に行ってみました。キャンプ客にもお話を聞いていますし、道の駅に訪れた方にも聞いておりますけれども、来た方から話を聞きますと、「道の駅ってどこなのでしょう」と聞かれるのです。皆さん、道の駅の概念というのは、建物があってという意識を持っているのでしょうか。私はこのエリアが道の駅であるということをお聞かせの方にはお伝えしました。また、「どこか飲食できる店はありませんか」とも言われました。それでもう一度、町長に聞きたいのですが、受け入れやおもてなしの体制について、先ほどはできていると言っていましたけれども、具体的にどのようにお考えでしょうか。もう一度お願いします。

- 議長 大釜 登 町長。
- 町長 上坂 隆一 いろいろな意見があり、いろいろな形で聞いていますけれど、私は、その後の町政懇談会等で、道の駅の話が出ていの中で、かなり町全体が戸惑いはありながらも、それぞれの立場でいろいろな形で対応してくれていると感じています。ですから、例えばボランティアだとか、それからもっと関係者と連携をして、町が音頭を取っておもてなしの雰囲気

令和6年第4回月形町議会定例会 1日目（12月3日）

上げていくということも必要かと思いますが、私は今のところ、現状の対応でリピーターが足を運んでくれると、そのように思っております。

- 議長 大釜 登 東出善幸議員。
- 議員 東出 善幸 町長、現状の対応でリピーターがいるとおっしゃいましたけれども、道の駅はいろいろとあると思いますが、やはり慣れてくるのです。慣れてきて、リピーターという方も少なくなるということも私は聞いていますし、逆に、物凄く盛況な道の駅もあると聞いております。

私としてちょっと提案なのですが、このようなことは考えられないでしょうか。町長がボランティアや関係者についてお話しされましたが、来訪者の多い時期にテントを張り、月形町おもてなし隊と印刷された法被を着た者が対応するというのはどうでしょう。若い人はSNSなどを駆使していろいろと調べられると思いますが、高齢者はなかなかできないと思います。このおもてなし隊が観光案内や町内散策場所、飲食店の情報を提供することにより、来訪者が心地よく過ごし、心地よく帰路につけることができると思います。それが良い思い出となり、「また月形に行こう」と思ってもらえるのではないかと考えます。ただ、簡単ではないと思います。おもてなし隊はボランティアにするのかどうか、どのようなメンバーにするのか、管理経費の負担や観光散策案内の情報知識など、課題はたくさんあると思いますが、町長はこれについて、どのようにお考えでしょうか。

- 議長 大釜 登 町長。
- 町長 上坂 隆一 私はもう既に、皆楽公園の管理運営等に関わっている業者の方々や、それから、多くの方々が、今、議員がおっしゃったような、おもてなし隊のような方が案内をしてくれていたのだと思っております。ただ、それをもっと進めるという部分については、費用の問題など関係すると思しますので、当面は、私は、そういった方々の努力や、町民の皆さんが、「ここは満杯です」とか「食事するには、あそこにそば屋がありますよ」、「あそこにはポポットという飲食店がありますよ」というような案内をしてくれている姿を見たり聞いたりして、私は、そういった形の中で、もう少し体制づくりとまではいかななくても、私は月形の町民の皆さんの思いを受け止めて進めていただくと、それを見ながら、今後、先ほどから道の駅の悪い話ばかり聞くという質問もありましたけれども、決してそういうことではないかと思っております。
- 議長 大釜 登 東出善幸議員。

令和6年第4回月形町議会定例会 1日目(12月3日)

- 議員 東出 善幸 最後になりますが、先ほど町長は今、体制づくりというふうにおっしゃいました。ただ、そこに例えばポポットがあるとか、そば屋さんがあるとか、それも町長が言われました。ただ一部、先ほど質問させていただきましたが、一部の飲食店で受け入れが大変だったという飲食店もあるわけです。私が先ほど町長に質問したときに、こういう質問で、商工会、JA、そして観光協会との連携が私は必須ではないかと思うのです。先ほども言いましたが、それをすることによって、例えば飲食店も受け入れが大変だったとか、そういうことにはならないと思うのですが、その辺の連携について町長、今のところ私にはできているようには見えないのですが、それについて、どのようにお考えでしょうか。
- 議長 大釜 登 町長。
- 町長 上坂 隆一 具体的には、連絡会議を私の名前で、商工会、農協、そして飲食店等も含めて、現状分析をするというようなことは行ってはいません。しかし、私は当初、道の駅の問題だという具合に思っていた部分が、徐々に広がってきていると思いますので、今後は商工会、観光協会も含めて、来年度に向けて、その都度協議をしていきたいと思えます。
- 議長 大釜 登 東出善幸議員。
- 議員 東出 善幸 町長は、やっていなくて今後やっていくとその都度やられていくということで答弁されましたけれども、早速、来年度の繁忙期に向けてということでしょうか。どういうことをやっていこうとか、どういうふうに皆さんが連携できるかというのは、もうやられていくということで、徐々にやっていくということによろしいのでしょうか。
- 議長 大釜 登 町長。
- 町長 上坂 隆一 そのようにしたいと思えますので、ご理解ください。
- 議長 大釜 登 東出善幸議員。
- 議員 東出 善幸 分かりました。
- 議長 大釜 登 暫時休憩いたします。 (午前11時21分休憩)
- 議長 大釜 登 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。
(午後 1時30分再開)
- 議長 大釜 登 順番4番 我妻 耕議員、発言願います。
- 議員 我妻 耕 それでは、通告書に基づきまして質問いたします。兼

令和6年第4回月形町議会定例会 1日目（12月3日）

平教育長は、新たに教育長に就任されましたが、年度途中のことでもあり、業務の遂行に心を砕かれている日々だと思います。しかし、月形町の教育行政は動き続けており、今年度残りの事業の継承・実施が必要だと思いますが、教育方針及び教育行政執行方針に基づいてどのように取り組まれるのか。教育長の現在のお考えをお伺いいたします。二つに分けての質問になりますが、一つ目としまして学校教育についてですが、月形には花の里こども園から高校まであり、こども園、小中高校、それぞれの校種において特に待ったなしと思われる課題もあります。高校の存続や学校生活、そのほかにも、着任早々ではありますが、それらへのお考えや取り組みについてお伺いいたします。

○ 議長 大釜 登 教育長。

○ 教育長 兼平 晃成 通告に基づきお答えいたします。初めに、私事で恐縮ではございますが、議会の承認をいただきまして、11月9日付けをもちまして教育長の職を預かることとなりました。私は、教育は人を幸せにする営みだと考えております。そのことを前提に、前教育長に引き続き、令和6年度教育行政執行方針を着実に進めてまいりたいと考えております。

最初に、学校教育に関してでございます。まず、確かな学力の育成に関わって、今年度も小中学校ともに主体的対話的で、深い学びの実現に向け、授業改善の努力を進めてまいりました。また、時間講師や外国語指導助手の配置、活用によって、学力の底上げを図ってきたところでございます。その甲斐もあって、月形の子どもたちは、比較的高い学力を持続的に発揮してまいりました。私は、基礎的な学力が比較的身につけている月形だからこそ、現行学習指導要領で謳われております、例えば、自分の考えを相手に分かるように、根拠を挙げて説明できる能力や、創造的な思考探求力といった力を育てるための受け身ではなく、よりアクティブな授業の展開が可能だと考えております。そして、そのことが、子どもたちが自分で自分の将来を切り開いていく力、自分の幸せを見つけて育てていく力につながると考えております。そのために、次年度に向けて、それぞれの学習状況や学習意欲に応じて、基礎から発展まで自発的に学習に取り組むことができるコンテンツの導入なども検討してまいりたいと考えております。さらに、こども園を含めた幼小中の連携によって、月形町としての一貫した人材育成、統一カリキュラムの作成に向けて取り組みを進めていきたいと考えております。

高等学校への支援に関しましては、先日、私の就任挨拶を兼ねて道教委を

令和6年第4回月形町議会定例会 1日目（12月3日）

訪問した際、6月に就任された中島俊明教育長と面談いたしました。同氏は、月形町の小中学校の子どもたちの学力が高いことを大変評価されており、何より、月形高校が努力して進路などで成果を上げることによって、地元の優秀な子どもたちが月形高校に入学を志望するようになることが一番であること、高校の努力のいかんによっては、存続は十分可能であるとの認識を示されました。教育委員会といたしましては、これらの言葉に気を緩めることなく、引き続き、近隣地域の中学校に働きかけるなどの取り組みや、月形高校への支援を継続するとともに、月形高校の取組や成果に期待してまいりたいと考えております。

- 議長 大釜 登 我妻 耕議員。
- 議員 我妻 耕 言葉として人を幸せにする営みという言葉、とてもいい言葉だなと思って聞かせていただきました。そうですね、本当に幸せにするというか、自分たちがこれから切り開いていく子どもたちにとっての切り開いていく部分で、月形として統一したカリキュラムの構築を目指されているということも分かりました。細かいところについては、今はお伺いしません。今伺った部分につきまして、高校についても、道教委の方で、町としての小中学校の高い学力等を、高校が成果を上げることで、その進路先として選ばれるようになれば存続の道が開かれるというふうに考えているということも分かりました。学校教育についてはいろいろこれからもやはり、これまでも言っていたのですが、多くの町民の母校である高校もそうですし、小中学校の日々の学校生活についてもいろいろあると思いますが、よろしく願いいたします。

それでは、二つ目の質問に行きたいと思います。二つ目の質問ですが、社会教育についてです。社会教育においても、教育委員会の職員を中心に、時には町民の力を借りてさまざまな取り組みをしています。今日は12月3日です。年度残りの取り組みとなりますが、これからも人口減、高齢化、利用者減の中でそれぞれの事業への取り組みがあり、また、負担が大きくなっている社会教育施設の管理もあります。その他の事業などへの取り組みも含めて、教育長は現在どのようにお考えでしょうか。

- 議長 大釜 登 教育長。
- 教育長 兼平 晃成 お答えいたします。社会教育に関してでございますが、青少年健全育成の推進、それから生涯学習の推進に関しましては、教育行政方針に基づき、おおむね計画どおりに進めることができました。また、

令和6年第4回月形町議会定例会 1日目（12月3日）

空席となっておりました社会教育指導員を4月から配置することができ、図書館の運営も円滑に進めることができました。

スポーツ活動の推進に関しましては、各種スポーツ大会やレクリエーション活動、町民体力測定など、北翔大学とも連携し、健康づくりや体力向上の取り組みを進めてまいりました。

文化芸術活動の推進に関しましても、町民文化祭やバスツアーも含めた芸術鑑賞の取り組みなどを進めてまいりました。特に樺戸博物館につきましては、道の駅設置の相乗効果もあり、入館者が増加いたしました。

また、今年度は、図書館と樺戸博物館の冷房設置のほか、総合体育館、野球場、パークゴルフ場等で修繕を行いました。基本的には、教育行政方針にのっとり、残りの期間においても粛々と進めてまいりたいと考えております。課題といたしましては、各種取り組みやイベントにご参加いただいた皆様にはおおむね好評を得ておりますが、一方で、全体的には参加者が固定化する傾向も見られ、議員がご指摘のとおり、人口減、高齢化、それに伴う利用者減の中で、事業や施設整備の持続可能な在り方を総合的に検討していく必要があると考えております。

○ 議長 大釜 登 我妻 耕議員。

○ 議員 我妻 耕 まず、人口減少や高齢化、利用者減というのはずっと続いている現象でもありますし、その中で、社会教育、子どもたちではなく、成人の方々を対象とした部分について、施設も含めて持続可能な取り組みをするということなので、ぜひ続けていっていただきたいと思います。樺戸博物館の入場者が増えたということは大変喜ばしいことであり、あれは一度入ってみると、とても素晴らしい施設だと私も思っていますので、足を運んでもらえるきっかけになった道の駅というのは、その面でも良かったのかなという気がします。

最後になりますが、もしかしたらこれが一番聞きたかったのかもしれないのですが、ちょっと通告にはなかったのですが、月形町の令和6年度の教育行政執行方針を読まれたことと思いますが、読んでみて実際に感じられたことや、また、月形町をはじめ、いろいろなところで教育に関わられた経験からでもいいのですが、月形の子どものたちや大人たち、地域、教育への取り組みなど、素晴らしいところや魅力は何でしょうか。住み続けている私にとっては、ちょっとあるだろうとは思いますが、それが見えなくなっている部分があるので、もしありましたらお聞かせ願いたいと思います。

令和6年第4回月形町議会定例会 1日目（12月3日）

○ 議長 大釜 登 教育長。

○ 教育長 兼平 晃成 お答えいたします。実は、近隣の市町村では、3年間にわたるコロナ禍の影響もあって、授業中わざわざして落ち着きのない中で授業が進んでいくという状況が、小中学校問わず、ちょっと散見されるようになってきております。今の子どもたちは生まれてから、大人との関わりが昔と比べて、圧倒的に少なくなっております。

また、就学前の子ども集団でもまれるということがなくなりましたせいもありまして、発達の偏りが修正されないまま、そのまま小学校入学を迎えるというような状況が見られます。そういう中にあるのは、文科省が奨励しております実はタブレットを使った学習というのは、効果もある一方で、集中しづらいという問題もはらんでおりまして、教育先進国のスウェーデンでは、先日、使用を取りやめると、アナログに戻るという決定をしたというふうにもなっております。

しかし、月形の子どもたちは、小中ともに早速、授業を見させていただきましても、素直さは相変わらずしっかりと持ち続け、見事に授業に集中して取り組んでおります。タブレットを使った学習においても、なかなか実は難しいのですが、低学年の子どもたちも、しっかり集中して取り組んでおりました。私が中学校長だった10年ほど前も、大変子どもたちの様子を見て驚いたのですが、今回もまた、近隣と比べると、その素晴らしさを一層感じたところです。これは、大人との関わりが比較的多い環境、そしてそのことが、言葉の力がしっかり身についているというふうに私は感じております。そして、周辺の方々が皆顔見知りで、自分の存在感を自然に持てるようになる。このことが影響しているのではないかと個人的に考えているところです。これこそ、地域の教育力であり、月形の特筆すべき財産であると私は考えております。

○ 議長 大釜 登 我妻 耕議員。

○ 議員 我妻 耕 いろいろありがとうございました。授業の様子の中から、そうなのですねと思わせるエピソードがありました。小さな学校で、小さな固まりではありますが、大人との関わりについては、月形高校の方でも不足しないようにという取り組みをしているはずで、今後ともそれが持続するようによろしくお願ひしたいと思ひます。教育長に関しましては、今後ともこの議場や委員会室などで、私たち議員は教育長とともにこの月形町を良くするために議論を重ねていきたいと思ひております。改めてご活躍をお

令和6年第4回月形町議会定例会 1日目（12月3日）

願いし、質問を終わりたいと思います。以上です。

- 議長 大釜 登 順番5番 松田順一議員、発言願います。
- 議員 松田 順一 それでは、通告に従いまして、今後の友好姉妹町村（市町）の交流について伺います。平成4年、1992年に、当時の新潟県月潟村と友好姉妹町村が締結され、相互の町民、村民がお互いの町を訪れ、交流してきました。また、月潟村の梨やぶどうなどの果物や、月形町からはスイカやメロンなどの農産物をお互いに販売しております。25年以上前の話になって恐縮ですが、私自身も商工会青年部時代に、月潟村の商工サービス業の方々とお互いの商店街マップを見ながら交流いたしました。また、月潟村には、その当時、大規模な穀類乾燥調製貯蔵施設も見学できました。当時、月形にはまだこめ工房が建設されておらず、月形町にも必要な施設だと感じておりました。このように、月潟村と月形町の交流は深まっていたと思いますが、月潟村は、平成17年（2005年）の平成の大合併で、新潟市南区に編入されました。それに伴い、友好姉妹町村の締結は解消されました。その後、相互の人事交流は小学生のみの交流になったとのことですが、お互いの特産品の販売はいまだ続けております。また、中間市については、前町長の櫻庭氏が月形潔の生誕の地である福岡県中間市中底井野を訪問し、交流するようになりました。私も議員になり、コロナ感染症の時期を除き、月形潔をしのぶ集いの交流会に参加していますが、毎年遠い九州から中間市の方々にお越しいただいております。また、中底井野には月形潔の銅像も建立され、記念式典には月形町から町長、議長、副議長も出席しました。ただ、中間市とは友好姉妹市町の締結には至っていませんが、このようにお互いの交流は継続されています。今後、新潟市と中間市との交流について、町長はどのように考えているのか、相手方のことも勘案しなければならないと思いますが、お伺いします。
- 議長 大釜 登 町長。
- 町長 上坂 隆一 通告に基づきお答えいたします。新潟市月潟地区との交流については、月潟村が新潟市と合併した平成17年3月以降も、月潟地区との交流は継続することとし、協定書を交わしています。児童交流については、令和元年度まで継続してきましたが、児童数の減少によるホームステイの受け入れの難しさや新潟市による補助金の削減などもあり、令和3年度に児童交流、第30回の記念式典に合わせて、訪問による児童交流を終了し、

令和6年第4回月形町議会定例会 1日目（12月3日）

令和4年度からは月形小学校と新潟市月潟小学校が総合的な学習の時間を活用し、オンラインによる交流を実施しています。

物産交流については、本町において、月潟地区の特産品の話を中心に、商工会女性部の協力をいただき、町内での販売会を実施しており、月潟地区におきましても、新潟県南区月潟まつりの会場で、本町の特産品の販売会を行っていただいております。

続いて、福岡県中間市との交流ですが、おととしまで実施していた物産交流については、中間市にある新鮮市場さくら館において取扱いが困難ということにより、一部商品のみが取扱いとなっています。樺戸監獄物故者追悼式には以前のような大規模な訪問ではありませんが、月形潔学習会の方が数名出席していただき、交流を行っています。

また、両市町の小学生がお互いの市町を学習し合う交流も令和4年度から行われております。質問事項にある今後の交流についてどうするかということにつきましては、新潟市月潟地区との交流は、新潟市及び月潟コミュニティ協議会との連携を密にしながら、現在取り組んでいます。小学校同士のオンラインによる児童交流を継続していくほか、物産交流につきましても、今後も継続する方針であります。

また、本年は、新潟県の白根、味方、月潟の3地区で構成されている新潟県南商工会の方が本町を訪問され、今後、それぞれの地域の特産品を取引できる関係性を築きたいとの考えから、商工会にも訪問し協議を行っています。事業者間での交流が活発になることを望んでいますし、町としても協力していく考えであります。

福岡県中間市との交流は、平成24年に櫻庭誠二前町長が本町の名前の由来となっている樺戸集治監初代典獄の月形潔の生誕地である中間市を訪問したことが交流のきっかけであります。その後、事業者同士での物産交流や各小学校の授業による児童交流まで広がりを見せています。現在、物産交流は行われていませんが、今後、ふるさと納税の返礼品事業者との連携などを検討していく予定であります。

新潟市月潟地区との交流があることから、中間市との交流は現在の規模での交流を進めることとしていますが、今後の事業の進捗によっては、さらなる交流推進を検討する必要があると考えています。

- 議長 大釜 登 松田順一議員。
- 議員 松田 順一 今、新潟県、いわゆる旧月潟村の月潟地区以外にも、

令和6年第4回月形町議会定例会 1日目（12月3日）

白根市や3町村の商工会が来ており、これからの物産品の取扱いを増やしていきたいということで、これから交流が深まれば、もちろんその3町村は白根市は市かもしれませんが、いわゆる南区、当時の南区になったということで、南区の関係性も強まっていくのではないかというお話だったと思います。

そして、中間市についても、今は物産交流をしておりませんが、これから、そういう要するに中間市の物産も交流をしていくという町長のお話もありました。そういう意味で、ずっと私自身、ちょっとこれからそういう姉妹市町村の関係が薄れていくばかりなのかなというふうに正直なところ思っていましたけれど、今の町長のお話を聞いて、決してそうではなくて、今後の場合によっては広がっていく可能性もあるのだなということをお聞きしまして、安心しました。

ただし、市町村間の締結をしないと、なかなか人事交流というのは深まらないのかなと思っております。町長として、姉妹市町、当然新潟市の場合ももう南区になったので、すぐには姉妹締結という形にはならないかもしれませんが、中間市との関係については姉妹締結も考えられるのではないかと私は思っているのですが、町長はどのように考えているかお聞きしたいと思えます。

- 議長 大釜 登 町長。
- 町長 上坂 隆一 今のところは考えておりませんが、今後の成り行きによってはそういったことも必要かと思えます。
- 議長 大釜 登 松田順一議員。
- 議員 松田 順一 今すぐではないけれども、決してそういうことを考えられないことはないということなので、ある程度前向きな気持ちで、月形のこのように今の状況では月形の子どもたちについても宙ぶらりんの格好でありますので、言葉が悪いですけれども、ほかの市町村では結構そういう交流型の取組もしていると聞いておりますし、今後考えていただきたいと強く要望いたしますので、私の質問を終わらせていただきます。
- 議長 大釜 登 以上で一般質問を終わります。

- 議長 大釜 登 以上で本日の日程は全て終了いたしました。本日はこれをもって散会いたします。なお、12月4日の本会議は、午前10時から再開いたします。

（午後 1時58分散会）